

分類	練馬区の平成30年代初頭(今から約10年後)の将来イメージ	理由
子どもからお年寄りまで安心して	子どもからお年寄りまで誰しものが、何の不安もなく健康(心・身)で生きていける	虐待、子育ての不安、障害を持つ人、お年寄りへのいたわり生活不安があり誰しものが、幸せになって欲しい。生きがいのある生活が出来るように。
	緑に囲まれた明るく楽しい町練馬！区民各々が笑顔であいさつ出来るいっつも笑声が聞こえる町にしたい。(子供も大人も高齢者も…)	現在、種々の問題が山積しているが困難を乗り越えるために少しでも成果が出せる様に皆様と努力したいと思う。
	こどもからお年寄り、障害者までお互いをたすけあえる社会	お互いの立場や、状況を理解し、相互扶助の気持ちがあればお互いの利益を追求するだけで、お互い実現したい社会をつくることはできません。まず、お互いの立場をよく理解し、どうやって助けあえるか？が必要な世の中になってきていると思います。
	今の10代が、練馬で子育てをして、親の世代や障害をもつ人を支えていける町に。世代をこえて助けあい、住んでいてよかったと思える町に。	光が丘に住んで10年になりますが、少子化高齢化が進んでいるのでしょうか。
子育て	少なくとも3才くらいまでの子どもを持つ(できれば5才くらいまでが理想)親のどちらか(できれば母親)が、その間全く仕事をしなくても安心して生活を維持できるような環境、あるいは短時間の労働で済む環境・宗教的情操教育を具体的に実践し、大切に作る社会	本当は休職したいが、3才からでは保育園に入りにくいので0才から入れておけるように無理に復職してしまう人が大変多い。また、収入が無くなったり、復職が難しくなることを避ける為に早期に復職する人が多い。子育て中心の社会への意識改革が必要。乳幼児期はできるだけ子育てに専念できる社会環境の整備。子育て家庭への収入の援助や税の優遇など。
	子育て環境の充実	子育てしやすい環境(出産から育児、保育所、幼稚園、学校)を整え、またそれをサポートするシステム(行政と地域力)をつくることによって暮らしやすい町、活力のある町になる。
緑や風	緑に囲まれた安全で快適なまち	人間と自然との関わり、最小限の自然として緑と風が通る空間が必要。子供の健やかな成長を目指して。

分類	練馬区の平成30年代初頭(今から約10年後)の将来イメージ	理由
地域の相談ステーション	<p>バリアフリーのワークセンターを開設。高齢、子育て中の人、軽度の障害のある方、介護者など、少しの時間を集い、そこで息ぬき、情報交換が出来る。互いに空き時間を出し合える場と出来たら良い。</p>	<p>現在はどれをとっても切れぎれで勿体ない状況が目につく。高齢者、少子化と言われている割には、手だてが見えない。</p>
	<p>①介護において、郵便局、薬屋さんで相談が気軽にできるようになる ②町の商店街に一つは、ほっとステーションのようなものができて、年寄、子供、子育て中の親子などが気軽に集り、顔のみえる地域にすること ③小、中学校で介護施設などの施設でのボランティアと交流がさかんになること</p>	<p>①地域での関係性が希薄なところがあるため、介護、子育て、などに孤立感があるように思われるため。②町の活性化と住民とのつながりを視点にした地域作りが必要と感ずるため。③在宅支援センターが各中学校区に1つくらいあるので(今は足りませんが)小中学校と支援センターのコラボレーションができるとよいと思う。</p>
	<p>1.独居老人が安心して住める町、2.高齢者や、そのご家族が医療、健康、介護などに関して、安心して相談し、今後どうしたら良いかなどのアドバイスをもらえる。</p>	<p>高齢者が増え、しかも、独居の方というのが大変多い社会になってきていると思いますが、正直、皆さんそれぞれの悩みを抱えていてもどうしたら良いのかということ困っているケースがあるため。</p>
	<p>高齢者や障害者が地域で自分なりの生きがいや励みとなるものあるいは人とつながりをもって生活できるまち。</p>	<p>・支援する制度やしきみは少しずつ整えられつつあると思うがただ支援される側であるだけでなく、時には支える側にもなり、いきいきとくらしたい。</p>
	<p>赤ちゃんからお年寄りまで安心して暮らせる顔のみえる関係のネットワーク</p>	<p>地域で子育てを応援し又、住みなれた地域で、老後を迎えることの出来る町づくり、老後でもいつも、社会参加をして、健康管理を自らし、介護を受けないでいつまでもいきいきと、暮らせる体制を地域でつくる。</p>
	<p>超高齢者社会の到来が押し寄せてくる。地域社会で自立・共生が必要。30年前の練馬区基本構想としての、健康と生きがいあふれたまちから地域での自立した社会</p>	<p>先ゆき不透明の中でのいらだちの解消を目的としていきたい。</p>
	<p>経験や知識を活かす支えあいの地域づくり。家で「ターミナルケア」を受けられるように在宅介護の充実を図る。</p>	<p>気軽に「なんでも相談」地域在住の有資格者が相談に当たる。高齢者も社会活動参加で「老人力」の発揮ができる。</p>

分類	練馬区の平成30年代初頭(今から約10年後)の将来イメージ	理由
高齢者が安心して暮らせる	高齢者の方が地域と関わりをもちながら明るく暮らすこと	練馬区は高齢単身世帯が他区に比べても非常に多い。健康面の問題や適当な仕事が無い等の理由で孤立しがち。周囲との人間関係も希薄化している。
	1.都内で一番認知症予防に力を入れている町。 2.認知症の人が住みなれた町。地域で楽しく生活していける環境のある場所が多くつくられている区になっている町。 3.医療の充実した町。	・現在認知症予防のウォーキング等のグループに入っています。この活動を広げて役に立っていることを実感したい・認知症の人の淋しさ、家族の介護の大変さ、ワーカーの気持ちを代表してつくづく思っています・高齢者＝病気＝認知症＝一人ぼっち
	高齢者、障害者が安心して暮らせる町。地域福祉の充実。	練馬区は、他の町より健康福祉は進んでいるが医療の点でおかれている。(病院)病室がたりない。
	健康年令が延びていること。まんがいち、認知症を発症しても、地域の人に支えられて暮らせる町	高齢者世帯の増加、介護者の負担軽減がなされないと在宅では過ごせない。他の人を思うことは精神活動を豊かにし、自己の健康(認知症予防)(健康年令を延ばすこと)にも役に立ちます。その為には、ネットワークを形成されることが必要です。
ノーマライゼーション／ 障害者の理解	1.知的障害者を含めた障害者が練馬区で、安心して暮らせて働き場所があるノーマライゼーションの完全実施	1.現状は、国の施策である障害者自立支援法により、就労支援事業を推進する様いわれていますが、不十分の状態です。2.障害者が自立して生活出来る施策、例えばグループホーム等の設置が不十分の状態です。親の高齢化に伴う親子入居可能グループホームの検討が必要である。
	障害者(精神、身体、知的)の人権が守られ、一人一人が地域の人々と生活できるように、自己実現ができるような社会になって欲しい。社会的1.病院、施設から地域で生活できるように障害者理解の社会的啓発がなされている地域社会。個人的2.医療福祉に関する社会資源が充実して地域生活を充実して、自己の希望する社会自分の生活を自由に実現できる社会。	個人的・生活のしづらさ、ホスピタリズムが理解され、社会が啓発され、理解をもって人々が生活できるようにしたい。
	障害児・障害者が地域社会の中で生活できる	外見で分かる障害に対しては保障や支援が広がってきているが、外見では分からないもの、自閉症、AD/HD、LD、等の理解されにくいものに対する支援の拡大が望ましいから。
歯科医療	あらゆる年代の方々にも平等に手厚い歯科医療が受診できる様な体制	一生涯、自分の歯でおいしく食べられることが、健康への第一歩だと思います。
行政の柔軟性・効率性	柔軟性があり現実的で効果的な行政(施策)(・現行の進展形?)	お金(予算)人(人材)の使い方が上手ければ少ない予算でも、住みやすい街づくりは可能と考えるので。